

前期基本計画 平成28年度 施策方針書

政 策 : 05 一人一人が学ぶよろこびを実感できるまちを目指します

基本施策 : 02 学校教育の充実

施 策 : 03 健康・安全活動の支援

施策担当職・氏名	副主幹兼主任主査 小原 亮
-----------------	---------------

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	<p>子ども達が生き生きと学校生活を送るためには、体位・体力の発達促進が図られ、心身ともに健康であることがまず大切です。そのうえで、日々の学校生活において、児童生徒が安全に登下校でき、学校内においても学校環境衛生の維持管理等により、安心・安全に生活できることが必要であると考えます。</p>
--	---

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位 %	24.3	30	33	36	40	42	-	
			26.7	-	-	-	-	0.0	
2	幸福 子どもが悩みを相談できる相手がいると感じる人の割合 単位 %	52.6	54	56	59	62	64	-	
			53.8	-	-	-	-	0.0	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成26年度	平成27年度 (見込)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	4年後
1	3093 学校保健事業 環境衛生検査実施回数 単位 回	目標値	1	1	1	1	1	1	0
		実績	1	0	-	-	-	-	-
2	3172 学校医等設置事務 学校医等配置数 単位 人	目標値	26	26	25	25	25	25	25
		実績	26	0	-	-	-	-	-
3	3270 学校安全体制整備推進事業 スクールガード登録者数 単位 人	目標値	450	450	450	450	450	450	0
		実績	324	0	-	-	-	-	-
4	9726 小学校情報メール配信システム支援事業 メール配信システム導入学校数 単位 校	目標値	8	8	8	8	8	8	0
		実績	8	8	-	-	-	-	-
5	9727 中学校情報メール配信システム支援事業 メール配信システム導入学校数 単位 校	目標値	6	6	6	6	6	6	0
		実績	6	6	-	-	-	-	-

前期基本計画 平成28年度 施策方針書

政 策 : 05 一人一人が学ぶよろこびを実感できるまちを目指します

基本施策 : 02 学校教育の充実

施 策 : 03 健康・安全活動の支援

施策担当職・氏名 副主幹兼主任主査 小原 亮

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

学校保健安全計画の見直し、交通安全教室等による指導、スクールガードによる不審者対策、通学路の安全点検、防災教育等、学校の安全・安心を確保する取り組みが進められています。

また、栄養職員等と連携しながら給食指導を充実するとともに、家庭・地域と連携して児童生徒の体力づくりを推進することにより、望ましい食習慣と健全な発育を推進しています。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

登下校中のスクールガードによる見守りなど、学校、教育委員会、家庭、地域の連携による安心・安全な学校生活への取り組みが進められています。今後も、不審者、交通事故等への対策は引き続き必要であると捉えています。

また、子どもたちの中には、学校、家庭生活の中で様々なストレスを抱えることも懸念されることから、子どもたちの心身の健康増進を図る取り組みも大切です。

(3) 基本施策との関連性

基本施策「学校教育の充実」が図られ、子ども達が生き生きと学校生活を送るためには、体位・体力の発達促進が図られ、心身ともに健康であることがまず大切です。そのうえで、日々の学校生活において、児童生徒が安全に登下校でき、学校内においても学校環境衛生の維持管理等により、安心・安全に生活できることが必要であると考えます。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

子どもたちが生き生きと学校生活を送るためには、体位・体力の発達促進が図られ、心身ともに健康であることがまず大切です。そのうえで、日々の学校生活において、児童生徒が安全に登下校でき、学校内においても学校環境衛生の維持管理等により、安心・安全に生活できるよう取り組んでいきます。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題

児童生徒の交通事故は、自転車の運転中の件数が多いことから、各学校の交通安全教室等による指導、スクールガードによる見守り、通学路の安全点検等の活動を継続・充実させることが必要です。

(3) 基本計画内方針及び平成28年度重点課題に基づく優先順位の考え方

児童生徒の命に係わる事故等を防ぐための交通安全指導やスクールガードによる不審者対策の継続・充実が大切です。

また、体位・体力の発達促進、心身の健康維持の取り組みも、引き続き学校医設置事業、スクールカウンセラー設置事業などにより進めていきます。

